

歩け！歩けフェスタ平針

4月27日開催



日頃は学区の活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

平針学区の恒例行事『歩け！歩けフェスタ平針』を下記のとおり開催します。

ご家族や友達同士誘い合って気軽にご参加ください。

開催日 2023年4月27日（土） ※雨天の場合は4月28日（日）

受付時間 午前9時30分～

出発時間 10時

集合場所 **針名神社・秋葉山合同駐車場**

コース 駐車場 → 農業センター → 荒池 → トンボ池
→ 二つ池 → 大堤池 → 駐車場

※ トンボ池の公園で休憩、飲み物の提供があります。

※ お子さんには、トンボ池の公園でジャンケン大会があります。

※ ウォーキング終了後、町内会員様には抽選で100名様に鉢花プレゼントがあります。空くじなし。お子さんにも参加賞があります。

※ 今後、新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。



主催：平針学区スポーツ推進委員

協力：区政協力委員会 地域福祉推進協議会

女性会 子ども会 おやじの会

後援：村瀬新聞店

平針交番だより

令和6年 4月号

愛知県天白警察署 地域課
TEL 052-802-0110

巡回連絡にご協力を

警察官が皆さんのご家庭を
訪問したことはありませんか？



- ・火災、地震などにより被害に遭われた場合
- ・家を留守中に盗難などの被害に遭われた場合
- ・外出先で、ご家族が交通事故に遭われた場合

などにおいてすぐに連絡がとれるように、
家族構成や非常時の連絡先を聴取しています！

巡回連絡では、



- ・犯罪や事故の被害者とならないためのアドバイス
- ・犯罪被害や事故に遭われたときの措置
- ・身近で起きている犯罪の予防方法や発生状況

などについて連絡させていただいてます。



皆さんからのご意見要望等をお聞かせいただき、
今後の警察活動につなげるといった活動です。
ご理解とご協力をお願いします！

平針交番管内の主な犯罪発生状況 (令和6年1月～2月までの暫定値)

・オートバイ盗	1件	・ひったくり	1件
・自転車盗	6件		

「アイチポリス」は、県内の犯罪情報を地図上や一覧で確認したり、パトロール機能等、様々なコンテンツが盛り込まれた愛知県警察のスマートフォン用アプリケーションです。

右の二次元コードを読み取り、インストールしてください。



iOS 端末 (iPhone)



Android 端末

天白警察だより

令和6年 4月号

愛知県天白警察署 地域課
TEL 052-802-0110

わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり
～こどもと高齢者を交通事故から守ろう～

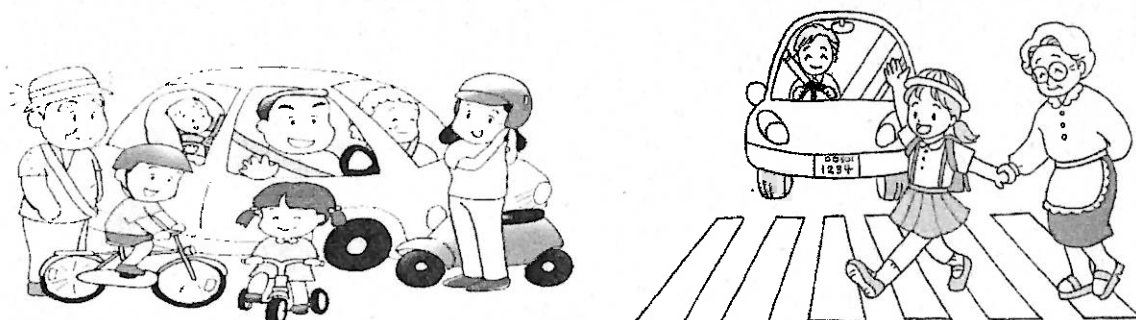
毎月10日は

「こどもを交通事故から守る日」です。
交通事故に遭わないために、
思いやり運転をするとともに見守り活動を
活性化しましょう。



高齢者の交通事故防止に配慮しよう

- ◆ 高齢者は、咄嗟の行動や歩行が不安定などの特性があります。
- ◆ 早めのライト点灯とハイビームを活用し、慎重に運転しましょう。
- ◆ 高齢者マークの車に幅寄せや割り込み等すると違反になります。



☆ 事件・事故 緊急事案は 110番 (110番は緊急通報のための専用電話です。)

☆ 警察の 相談ダイヤル #9110 (緊急性のない相談は、警察相談専用電話「#9110」を利用してください。)



消防情報



令和6年4月

天白消防署

電話 052-801-0119

Fax 052-806-0119

「災害は突然やってくる」 地域で防災活動を進めましょう！

～消防署が推進している地域防災活動を紹介しします。お気軽にご相談ください。～

1 戸別訪問事業

消防職団員がご家庭を訪問して、家具転倒防止対策の実施状況等をお尋ねし、必要な対策を具体的に提案するとともに、防災用品を1点無償でお配りするものです。

令和6年度実施予定（※令和元年度から順に実施）				
実施学区	平針北学区	植田学区	植田北学区	植田東学区
実施期間	5/11～5/24	6/1～6/21	6/22～7/5	7/13～7/26

2 家具転倒防止ボランティア派遣事業

自力で家具転倒防止対策を行うことが困難な世帯を対象に、家具転倒防止ボランティアを派遣するものです。

※出張費・施工費不要
器具代のみ必要



3 救命講習

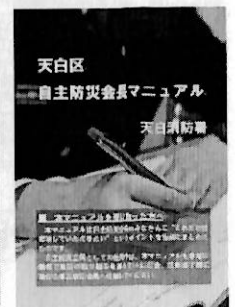
心肺蘇生法やAEDの取扱い、異物除去方法等を学んでいただくもので、事業所等での出張講習も実施しています。



4 自主防災活動の支援

災害時の地域の助け合い（共助）の中心となって活動する自主防災組織の仕組み作りや、訓練等の支援をさせていただくものです。

また、自主防災会長向けに、どんな訓練をしていただきたいのか等をまとめた、「天白区自主防災会長マニュアル」も作成しています。



☆ 各事業の詳細は・・・

天白消防署ホームページを確認してください。

天白消防署 地域防災

検索



☆ 相談窓口（学区ごとに分かれています。）

署所	住所	連絡先
天白消防署 本署	【担当学区】平針南・平針・平針北・原・しまだ・高坂・相生	
	〒468-0015 天白区原 5-2506	TEL：052-801-0119、FAX：052-806-0119 メール：16keibochiiki@fd.city.nagoya.lg.jp
天白消防署 島田出張所（※）	【担当学区】八事東・表山・天白・山根・野並	
	〒468-0056 天白区島田3-301	TEL：052-803-7127、FAX：052-803-7127 メール：16shimada@fd.city.nagoya.lg.jp
天白消防署 植田出張所（※）	【担当学区】植田・植田南・植田北・植田東・大坪	
	〒468-0002 天白区焼山1-807	TEL：052-802-0119、FAX：052-802-0119 メール：16ueda@fd.city.nagoya.lg.jp

（※）出張所は災害出動等で職員不在となる場合があります。その際は本署へご連絡ください。

自主防災組織情報とは

自主防災組織についての理解を深めていただくため、学区連絡協議会等で定期的にお知らせする資料です。より詳細に確認したいという方は…

天白消防署 自主防災組織情報

～ 自主防災組織情報について～

天白区 自主防災会長マニュアル

検索

令和 6 年度の新たな取り組みとして、自主防災組織に関する情報を毎月少しずつ提供させていただきます。

📌 概要

毎年度、地域みなさんには災害の発生に備え、「自主防災組織で訓練を行いましょう」といったお話をさせていただきますが、「そもそも、自主防災組織・自主防災会長って何？」や、「自主防災訓練って何をしたら良いの？」といった声を多くいただきます。今年度は区政協力委員(災害対策委員)の一斉改選期であったため、そういった声が特に多くなるのではないかと予想しています。

地域によっては、自主防災会長(自主防災組織のリーダー)を集め、説明会を行う機会を頂く場合もありますが、元より毎月、学区連絡協議会等でお話させていただく時間を頂いていますので、その時間に自主防災組織に関する情報を少しずつ提供させていただきます。

📌 掲載予定

令和 6 年度は、下表のスケジュールで情報提供させていただく予定です。

月	内容	月	内容
4 月	自主防災組織情報について	10 月	自主防災訓練事例の紹介
5 月	自主防災組織・自主防災会長とは？	11 月	自主防災組織関連でよくある質問①
6 月	地震時の自主防災活動について	12 月	自主防災組織関連でよくある質問②
7 月	平常時の自主防災訓練について	1 月	
8 月		2 月	継続的な自主防災活動について
9 月	安否確認訓練の実施方法について	3 月	

📌 天白区自主防災会長マニュアルについて

天白消防署では、今後掲載予定の内容等をひとまとめにした、「天白区自主防災会長マニュアル」を作成していますので参考としてください。



市公式ウェブサイトに掲載中です。

天白区 自主防災会長マニュアル

検索



⇒5 月号では、そもそも「自主防災組織・自主防災会長とは？」について説明します。



JAPANESE RED CROSS SOCIETY

人間を救うのは、人間だ。

Our world. Your move.



日本赤十字社活動資金へのご協力をお願いします。

日本赤十字社 愛知県支部の主な事業

1

災害救護活動

いつ、どこで発生するか予測ができない自然災害や人為災害。迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定のカ護訓練を重ねています。また県内各地に、災害時に必要な資機材の配備、救援物資の備蓄をしています。

2

救急法などの講習

緊急時の手当や事故防止に必要な知識、技術を学ぶ4つの講習会を県内各地で開催しています。学校、PTA、会社、町内会や自主防災組織など団体からのご依頼に合わせた講習にボランティアの指導員などを派遣しています。また、オンライン環境を活用した講習も開催し、継続的な普及を行います。

3

国際活動

世界の191の国と地域に世界的ネットワークをもつ人道支援機関として、災害や病気で苦しんでいる人を救うため、救援活動や保健衛生環境の改善を行っています。また、現地で活動できるように「国際救援・開発協力要員」となる人材を育成しています。

4

青少年赤十字

青少年赤十字は、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ、県内1090以上の青少年赤十字加盟校で、いのちの大切さや人のために自ら考えて行動できる子どもたちを育成しています。

5

赤十字ボランティア

赤十字の活動は多くのボランティアに支えられています。地域に根差した活動を行う「地域赤十字奉仕団」特技を生かした「特殊赤十字奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」が活躍しています。





6

医療事業

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院(中村日赤)・第二病院(八事日赤)では、地域の中核的な病院の役割を果たすほか、国内外の災害時には医師や看護師を派遣しています。



7

血液事業

愛知県赤十字血液センターでは、病气やけがで輸血を必要とする方々のため、広く献血についての理解を求め、多くの方のご協力をお願いし、安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。



8

看護師養成

日本赤十字豊田看護大学では、赤十字の国内外の救護活動をはじめとして、最先端の看護知識・技術を身に付け広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。



9

社会福祉

各地域における課題を把握し、行政、企業、他団体と連携し各地域で必要とされている社会活動を展開します。また、地域の保健衛生向上に寄与するために、赤十字健康教室を行っています。



皆さまからの活動資金のご協力は
日本赤十字社の事業に
大切に使用させていただきます



あなた



日本赤十字社

地域で
必要とされる
社会活動の
展開



1

子どもと子育て世代の支援

赤十字ボランティアによる子ども食堂や、子どもに起こりやすい事故の予防や、事故に対する手当の方法を学ぶ講習の普及など、子どもたちの育成を地域で支援します。



2

多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を普及するほか、地域における多文化共生の取り組みを、関係機関と連携をとりながら実施してまいります。



3

高齢者健康生活支援

高齢者の孤立を防ぎ、健康増進に資する環境づくりのため、企業等と連携した外出・移動支援や健康チェックの実施など、社会参加を促す支援を行っています。



4

災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・生徒に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。



ごあいさつ

日頃は、赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年1月に発生した能登半島地震では、医療救護班の派遣や、毛布などの救援物資の配布など総力をあげて支援にあたっていました。また、お寄せいただいた災害義援金は、被災された方々の生活支援のため、全額を被災県の義援金配分委員会に送金しております。

昨年は、例年になく記録的な大雨を観測する中、救援物資の配布を行うとともに、水害を想定した訓練や県内各地への資機材の整備し、防災セミナーを通じた大規模災害への対応能力や地域の防災力向上に努めております。

また、海外では、各地で大規模災害や紛争による人道危機が発生する中、これらの災害・紛争に対する海外救援金を募集し、県内赤十字施設から現地に職員を派遣する等、支援してきています。

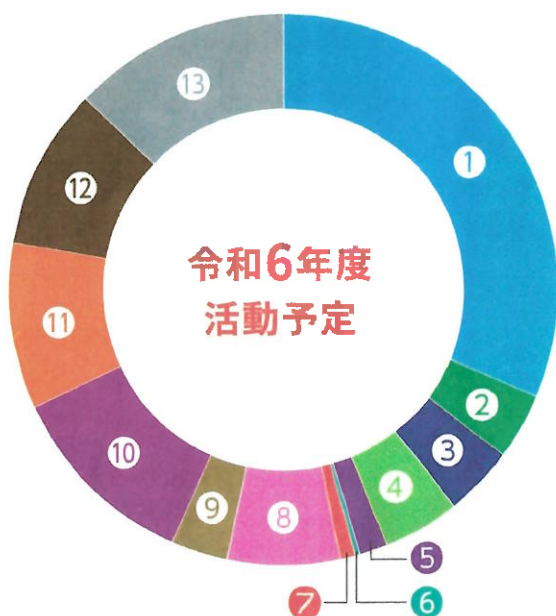
こうした活動は、皆さまからの継続的な活動資金のご協力により支えられております。今後も一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社愛知県支部
支部長

大村 秀章

▶ 令和6年度予算概要



お寄せいただく資金で右記のような活動を
予定しています。

歳入		
内訳	予算額	
社資収入	1,092,000,000 円	86.9%
委託金・補助金及び交付金収入	6,823,000 円	0.5%
資産収入・雑収入	26,193,000 円	2.1%
前年度繰越金	132,343,000 円	10.5%
合計	1,257,359,000 円	100.0%

歳出		
内訳	予算額	
① 災害救護事業と救護看護士の養成に	395,321,000 円	31.4%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	49,935,000 円	4.0%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	52,550,000 円	4.2%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	53,435,000 円	4.3%
⑤ 社会福祉事業などに	21,545,000 円	1.7%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,389,000 円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,684,000 円	0.8%
⑧ 活動資金募集のために	82,441,000 円	6.6%
⑨ 赤十字の普及・広報活動のために	41,856,000 円	3.3%
⑩ 赤十字病院救急医療体制の整備に	143,413,000 円	11.4%
⑪ 市町村における赤十字活動に	121,400,000 円	9.7%
⑫ 全国的な赤十字活動に	121,050,000 円	9.6%
⑬ 支部の運営に	158,340,000 円	12.6%
合計	1,257,359,000 円	100.0%

※使途が指定された活動資金による事業を含みます。

▶ 活動資金のご協力方法

地域でのご協力	チャリティイベントでのご協力	遺言や相続財産によるご協力	企業でのご協力
---------	----------------	---------------	---------

※地域でのご協力をご依頼しているほか、ダイレクトメールなど年間を通じて活動資金協力のお願いが重複する場合がございますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取り扱い

日本赤十字社（本社及び都道府県支部）は、会費（社費）、寄付金（「海外たすけあい」を含む）、海外救援金、国内災害義援金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50
TEL (052) 971-1596

日赤 あいち

検索

